



■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島大学本部跡地 ナレッジ	階数	地上4F
建設地	広島県広島市中区東千田町1丁目1	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	843 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所,学校,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年9月29日
敷地面積	3,625 m ²	作成者	夢考房建築設計室
建築面積	2,057 m ²	確認日	—
延床面積	6,373 m ²	確認者	—

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.2		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 3.4</p> <p>設計の計画段階に配慮した事項 外皮性能を断熱等性能等級3としている / 建物全体で省エネ基準を満足し、省エネルギーに配慮している。 / LED照明器具を採用し、設備の高効率化に配慮している。 / 設備ごとの取扱説明書を居住者に渡し、メンテナンスを可能にし設備性能維持に配慮している。 / PS、天井内配管等により設備との錯綜を回避することで、部材の再利用の可能性を高めている。 / LCCO₂の排出率を参照値より抑制している。</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 2.5</p> <p>設計の計画段階に配慮した事項 敷地内に中高木・緑地、屋上緑化を設けることにより、良好な緑地環境に配慮している。 / 駐車場・駐輪場の台数の基準を満たしている</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 3.1</p> <p>設計の計画段階に配慮した事項 躯体は劣化対策等級2相当とし、設備では耐用年数の長い配管材を採用することで建物の長寿命化に配慮している。 / 構造部材を痛めることなく更新できるように配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される